

2026年1月26日

相鉄グループにおける環境目標の達成に向け前進 国内分散型太陽光発電所を大規模取得 日本国内25カ所に計40メガワットの太陽光発電所を一括取得

相鉄クリーンエナジー株式会社

相鉄グループの相鉄クリーンエナジー株式会社（本社・横浜市西区、社長・加藤 努）（以下、SCE）は、2025年12月に、日本国内25カ所に分散する計40MW（メガワット）※1の稼働済み太陽光発電所を取得しました。

本件の取得により、SCEが運転および関与する国内太陽光発電所（以下、当発電所）の出力規模は合計約60MWとなります。

相鉄グループでは、2024年2月に脱炭素社会の実現に向けた「相鉄グループカーボンニュートラルチャレンジ」（以下、「カーボンニュートラルチャレンジ」）※2を策定し、CO₂排出量を2030年度までに2020年度比で42%削減することを目標に掲げています。

当発電所の取得により、SCEが運転および関与する太陽光発電設備の規模は、相鉄グループ全体の年間電力使用量の約25%（CO₂排出量約33,000トン）分に相当します。今後、相鉄グループ各社の事業経営の安定化につながるとともに、グループ全体の電力消費によるCO₂排出量の削減に大きく寄与します。

相鉄グループは今後も持続可能な社会の実現に貢献し、さらなる「カーボンニュートラルチャレンジ」推進に向け、取り組んでまいります。

概要は、別紙のとおりです。

※1 1MW（メガワット）=100万W=1,000kW

※2 2024年2月に策定した「相鉄グループ環境方針」および「相鉄グループ環境ビジョン」における、「気候変動」の分野への中長期的な目標とその達成に向けたより具体的な取り組み。



取得した太陽光発電所（京都府）

国内分散型太陽光発電所の概要

1. 取得完了月
2025年12月
2. 発電所
地上設置型太陽光発電設備（高圧）24力所
地上設置型太陽光発電設備（特別高圧）1力所
※どちらも固定価格買取制度（FIT）を活用しています。
3. 合計出力規模
40MW
4. 電力管内
○東京 19MW（10力所）
○関西 8MW（4力所、内1力所特別高圧）
○中国 5MW（5力所）
○東北 4MW（3力所）
○北海道 3MW（1力所）
○中部 2MW（1力所）
○九州 1MW（1力所）
※各数値は小数点第一位を四捨五入して記載しているため、合計出力規模が各電力管内の発電容量と異なります。

相鉄クリーンエナジー株の概要

1. 所在地
横浜市西区北幸二丁目9番14号
2. 資本金
1,000万円
3. 社長
加藤 努
4. 設立
2024年5月31日
5. 事業内容
再生可能エネルギー事業